



シンポジウム開催案内

●特基研究会鉄基複合材料部会シンポジウム開催案内

鉄・チタン複合材料の製法と特性

鉄基複合材料部会は、昭和63年度より、鉄鋼基礎共同研究会内に設置され、主として、共通試料として作製したチタンのクラッド材、および窒化チタンコーティング材を用いて、異種材質間の界面の組成、構造が、これら複合材料の加工特性、強度特性、環境特性等にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的として共同研究を実施してきました。この結果、今後の複合材料の加工技術の改善に大いに反映させることができると期待されるいくつかの成果を得ることができましたので、今回、これらの研究成果を報告すると共に、活発な討論を行っていただきたく、シンポジウムを下記により開催いたします。複合材料の製造から評価にいたる広い分野の研究者・技術者の方々が多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます。

なお、鉄鋼基礎共同研究会は、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本学術振興会(製鋼第19委員会、製鉄第54委員会)の三者で構成され研究活動を行ってきましたが、平成4年度で解散し、日本鉄鋼協会特基研究会へ移管されました。

1. 主 催：(株)日本鉄鋼協会
2. 共 催：(株)日本金属学会
3. 協 賛：軽金属学会、(株)チタニウム協会、(株)日本高圧力技術協会、日本複合材料学会、(株)表面技術協会、(株)溶接学会(依頼中)
4. 日 時：平成5年4月2日(金) 9:00～17:00
5. 場 所：横浜国立大学工学部A棟206(平成5年春季講演大会会場)
6. プログラム

(1)鉄基複合材料部会活動の経緯(9:00～9:10)座長：吉田 豊信(東大)
部会長新居 和嘉(金材技研)

(2)鉄基複合材料の製造・加工技術の現状と展望(9:10～10:25)座長：吉田 豊信(東大)
圧延法小林 泰男(NKK)
爆発圧着法氏本 泰弘(旭化成)
HIP法米田陽一郎(神鋼)

(休憩 10:25～10:40)

(10:40～11:55)座長：齊藤 亨(新日鉄)
拡散接合法恩澤 忠男(東工大)
高温加工特性木内 学(東大)
成型性と溶接性小川 和博(住金)

(昼食 11:55～13:00)

(3)鉄基複合材料の評価(13:00～14:30)座長：吉岡 啓一(川鉄)
強度特性評価福田 隆(日鋼)
接合部の強度評価法の問題点川並 高雄(金沢大工)
爆発圧接部の強度評価荒木 孝雄(愛媛大)

(休憩 14:30～14:45)

(14:45～15:45)座長：成田 敏夫(北大)
拡散接合部の強度と界面特性諸住正太郎(千葉工大)
表面分析装置を用いた界面評価藤田 大介(金材技研)
.....広川吉之助(東北大)

(15:45～16:45)座長：吉原 一紘(金材技研)
コーティング材料の評価(腐食)杉本 克久(東北大)
コーティング材料の評価(欠陥)成田 敏夫(北大)

(4)まとめと挨拶(16:45～17:00)

幹事吉原 一紘(金材技研)

7. 参加費：無料

8. テキスト(報告書)：別売、「鉄と鋼」新刊図書予約案内によりお申し込み下さい。(2、3月号に掲載)

9. 問合せ先：〒100 千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 (株)日本鉄鋼協会 技術室 上村一郎または大島孝子

TEL (03) 3279-6021 FAX (03) 3245-1355